

## 1 本館

### ◆一條彰子

「作品および関連情報」、「作品選択について」/『美術を身近なものにするために—鑑賞実践ガイド』/鑑賞教育研究プロジェクト(平成15年度~平成17年度科学研究費補助金研究(研究代表者:石川誠(京都教育大学)))

「美術館を利用した学校の鑑賞教育を広めるために」/前掲科研成果報告書

「日本の美術館教育事情—学校連携に向けての提言」、「美術館教育探求」、「調査報告」/『SoVA2005 子どもは美術で何を学ぶのか?』平成17年度~19年度科学研究費補助金成果報告書(研究代表者:橋本泰幸(鳴門教育大学))

「育てたい美術館好きの子ども」/『日本経済新聞(夕刊)』2005年11月18日  
執筆・編集/東京国立近代美術館体験型ワークシート『MOMATかんさつ日記』  
発表「日本の美術館教育事情」/前掲科研公開研究会、東京国立近代美術館会議室、平成18年1月28日

発表「科研費研究活動報告」/全国美術館会議第30回教育普及部会会合、国立西洋美術館講堂、平成18年3月9日

### ◆大谷省吾

編集/『東京国立近代美術館 所蔵品目録 水彩・素描 書 彫刻(立体造形) 資料 戦争記録画』

Chapter 3 Art during and after the War/Gallery Guide to the Collection of The National Museum of Modern Art, Tokyo—Modern Japanese Art, A Concise History

「キュビズムと日本」/『アジアのキュビズム展』カタログ

「吉原治良研究のこれまでとこれから」、「第3章 戦時中の絵画 二つの風景」、「文献目録」、「出品展覧会記録」/『吉原治良展』カタログ

「一九三〇年協会のメディア戦略と外山卯三郎」/東京文化財研究所編『大正期美術展覧会の研究』、東京文化財研究所

「広告と商業美術」/『コレクション・モダン都市文化』第10巻、ゆまに書房

「シュルレアリスムの影響を受けた日本の画家たちにおける、性と死の表象について」/『藝叢』22号、筑波大学芸術学研究室

「変容する眼 瑛九のフォトコラージュについて」/『現代の眼』551号

「近代美術の東京」/『読売新聞(都内版)』(毎月一回連載)

講演「総合芸術への夢 実験工房の舞台作品を中心に」/神奈川県立近代美術館、平成18年2月19日

### ◆尾崎正明

Chapter 1-1 Art in the Meiji and Taisho Periods—Around the Launch of the Buntent Gallery Guide to the Collection of The National Museum of Modern Art, Tokyo—Modern Japanese Art, A Concise History

「小林古徑について」、作品解説/『小林古徑展』カタログ

「藤田嗣治について」、章解説、コラム、年譜/『藤田嗣治展』カタログ

総説、作品解説/『作品集 加山又造』、共同通信社

### ◆蔵屋美香

編集/『東京国立近代美術館 所蔵品目録 水彩・素描 書 彫刻(立体造形) 資料 戦争記録画』

Chapter 2-1 Art of the Prewar Showa Period—Artists in the Modern City/Gallery Guide to the Collection of The National Museum of Modern Art, Tokyo—Modern Japanese Art, A Concise History

作家解説／『ドイツ写真の現在 かわりゆく「現実」と向かいあうために』展  
カタログ

「皮膚を切り裂く—藤田嗣治のふたつのモチーフ」、作品解説、コラム／  
『藤田嗣治展』カタログ

「壁画とタブロー—1900—1940年代」／木下直之編『講座日本美術史 6 美  
術を支えるもの』、東京大学出版会

「在外研修報告 イギリスでの研修を終えて—ホワイトチャペル・アート  
ギャラリーおよびエンゲージでの経験から」／『現代の眼』552号

「原田直次郎作《騎龍観音》について—ミュンヘンと護国寺と」／『現代の眼』  
553号

「展覧会予告 藤田嗣治展 パリを魅了した異邦人」／『現代の眼』556号  
発表「裸体の居場所 1900—1945年」／東京文化財研究所、平成17年12月14日

#### ◆鈴木勝雄

Chapter 4 Art in the 1950s and 1960s/*Gallery Guide to the Collection of The National  
Museum of Modern Art, Tokyo—Modern Japanese Art, A Concise History*

作家略歴／『アジアのキュビズム展』カタログ

作品解説／『藤田嗣治展』カタログ

「東松照明『太陽の鉛筆』について(図書資料)」／『東京国立近代美術館研究  
紀要』第10号

#### ◆都築千重子

編集／『東京国立近代美術館 所蔵品目録 水彩・素描 書 彫刻(立体造  
形) 資料 戦争記録画』

Chapter 2-2 Art of the Prewar Showa Period—Maturity of *Nihonga* (Japanese-Style  
painting) and *Yoga* (Western Style painting)/*Gallery Guide to the Collection of The  
National Museum of Modern Art, Tokyo—Modern Japanese Art, A Concise History*

作家・作品解説 横山操《清雪富士》、村山槐多《バラと少女》／『大いなる遺  
産 美の伝統展』カタログ、東京美術倶楽部、平成18年2月

「見ることと意識の覚醒：写真映像と版画—木村光佑と野田哲也を中心に」  
／『現代の眼』556号

「谷中安規《ロケーション》 1933年 夢へいざなう自由人—近代美術の東  
京」／『読売新聞』(都内版)平成18年9月2日

「三宅克己《上州妙義山》」／『文部科学時報』1551(平成17年6月号)2005  
(平成17)年6月

#### ◆中林和雄

編集／『東京国立近代美術館 所蔵品目録 水彩・素描 書 彫刻(立体造  
形) 資料 戦争記録画』

Introduction/*Gallery Guide to the Collection of The National Museum of Modern Art,  
Tokyo—Modern Japanese Art, A Concise History*

「キリンのモザイク」／『長沢秀之展』カタログ、アートトレースギャラリー

「リチャード・セラ、あるいは時限装置」／「Fuji Xerox Print Collection Richard  
Serra」展カタログ、Art Space by Fuji Xerox

「沈黙の声—遠藤利克 ビル・ヴィオラ キムスージャ」／『現代の眼』553号

「今日の安井曾太郎—肖像画と風景画」／『現代の眼』554号

◆中村麗子

編集／『東京国立近代美術館 所藏品目録 水彩・素描 書 彫刻(立体造形) 資料 戦争記録画』

作品解説、年譜、参考文献／『小林古径展』カタログ

作品解説／『大いなる遺産 美の伝統展』カタログ、東京美術倶楽部

作品解説／『作品集 加山又造』、共同通信社

作品解説「下村観山 弱法師」／『國華』1316号、朝日新聞社

「小林古径の落款、印章について」／『東京国立近代美術館研究紀要』10号

「近代美術の東京 長谷川利行 新宿風景」／『読売新聞』(都内版) 2005年4月12日

◆保坂健二郎

作家解説／『ドイツ写真の現在 かわりゆく「現実」と向かいあうために』展カタログ

「Jun Aoki」／『Museums in the 21st Century: Concepts Projects Buildings』(共著)に所収予定

「墓から展覧会へのシフト オーヴェールを訪れて」／『美術手帖』863号、美術出版社

「配色や構図の実験? ヴァリエーションが証すユニークな方法論」／『美術手帖』863号、美術出版社

「カプアと産業遺跡のマッチング」／『美術手帖』864号、美術出版社

「アムス登、エゴン・シーレの身体 —アブラモヴィッチとドウ・シャステルのダンス・オマージュ」／『美術手帖』868号、美術出版社

「パウル・クレー・センター、ついにベルンにオープン!」／『美術手帖』868号、美術出版社

「絵画の黙示録」／『美術手帖』869号、美術出版社

「いまこそ表現への欲望を捨てよ」／『美術手帖』874号、美術出版社

インタビュー「岡崎乾二郎」／『美術手帖』874号、美術出版社

「大衆の欲望を美術館は一戦後60年のミュンヘンで思う」／『すばる』2005年9月号、集英社

「新しく生きるために勇気を出して笑うこと」／『すばる』2005年10月号、集英社

「そこに愛はあるのか」／『すばる』2005年11月号、集英社

「美術批評は赤ちゃんのように無謀たれ」／『すばる』2005年12月号、集英社

「再制作を壊す身体」／『すばる』2006年1月号、集英社

「青森で、建築は演劇を孕んだ」／『すばる』2006年2月号、集英社

「長崎に、祈りの空間を見た」／『すばる』2006年3月号、集英社

若手研究者フォーラムにおけるコメンテーター／第56回美学会全国大会、慶應義塾大学、2005年10月

◆古田 亮

Chapter 1-2 Art in the Meiji and Taisho Periods—Humanism in the Taisho Period/  
*Gallery Guide to the Collection of The National Museum of Modern Art, Tokyo—Modern Japanese Art, A Concise History*

「小林古径をめぐる、5つの断章」、作品解説／『小林古径展』カタログ

作品解説／『作品集 加山又造』、共同通信社

「官展・院展の日本画—琳派的傾向を中心に」／東京文化財研究所編『大正期美術展覧会の研究』、中央公論美術出版

「近代日本画と琳派」、「琳派からRIMPAへ」／『琳派RIMPA 国際シンポジウム報告書』、ブリュッケ

『狩野芳崖・高橋由一』／ミネルヴァ書房、平成18年

「土田麦僊試論—《明粧》を中心に」／『ミュージアム』599号、東京国立博物館

「吉川霊華の人と作品」／『現代の眼』556号

#### ◆増田 玲

章解説、作家解説／『ドイツ写真の現在—かわりゆく「現実」と向かいあうために』展カタログ

『『時代の顔』とく20世紀の人間』／『アウグスト・ザンダー展』会場パンフレット

「三宅克己と『趣味』の写真」／東京文化財研究所編『大正期美術展覧会の研究』、中央公論美術出版

#### ◆松本 透

Chapter 5 Contemporary Art, the 1970s and Beyond / *Gallery Guide to the Collection of The National Museum of Modern Art, Tokyo—Modern Japanese Art, A Concise History*

「キュビズムにおける身体」／『アジアのキュビズム』展カタログ

章解説、作品解説／『吉原治良展』カタログ

「身体／ジェンダー／色彩／装飾」／『国際シンポジウム2005「アジアのキュビズム—境界なき対話」報告書』、国際交流基金

「国際シンポジウム〈アジアのキュビズム〉」／『現代の眼』554号

#### ◆三輪健仁

編集／『東京国立近代美術館 所蔵品目録 水彩・素描 書 彫刻(立体造形) 資料 戦争記録画』

編集 / *Gallery Guide to the Collection of The National Museum of Modern Art, Tokyo—Modern Japanese Art, A Concise History*

「コラム 『物語る』ための『フィールド』」／『アジアのキュビズム』展カタログ

#### ◆水谷長志

「独立行政法人国立美術館所蔵作品総合目録検索システム(<http://search.artmuseums.go.jp>)の公開について」／『アート・ドキュメンテーション通信』67号、アート・ドキュメンテーション研究会

「美術展カタログの収集と提供—ALCとJACのプロジェクトを通して」／『図書館雑誌』99巻9号、日本図書館協会、[発表]平成17年度全国図書館大会第5分科会(専門図書館部会)、茨城県開発公社ビル大会議室、平成17年10月27日、同大会記録

「美術抄録索引(主要4オンライン)サービスにおける雑誌重複タイトルの比較調査」／『アート・ドキュメンテーション研究』13号、アート・ドキュメンテーション研究会

展覧会カタログ等資料の取り扱い及び解説(案)、コーディングマニュアル(案)／[[http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/news\\_cat\\_exhibition\\_an.html](http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/contents/news_cat_exhibition_an.html)] (平成18年4月)

◆竹内万里子

作家解説／『ドイツ写真の現在 かわりゆく「現実」と向かいあうために』展  
カタログ

編集／『アウグスト・ザンダー展』会場パンフレット

◆白濱恵里子

「調査報告」／『SoVA2005 子どもは美術で何を学ぶのか?』平成17年度～19  
年度科学研究費補助金成果報告書(研究代表者:橋本泰幸(鳴門教育大学))

執筆・編集／東京国立近代美術館体験型ワークシート『MOMATかんさつ日記』

執筆・編集／『藤田嗣治展こどもセルフガイド』

「春休み!こども美術館【見る】を育む鑑賞プログラム」／『現代の眼』552号

「KIDS★MOMAT 2005東京国立近代美術館のなつやすみ」／『現代の眼』555号

発表「科研費研究活動報告」／全国美術館会議第30回教育普及部会合、西  
洋美術館講堂、平成18年3月9日

2 工芸館

◆今井陽子

「伊砂利彦の型染」／『伊砂利彦—型染の美』展カタログ

「浅井忠のモダニティ」、「章・用語解説」／『日本のアール・ヌーヴォー』展  
カタログ

執筆・編集／『たんけん!こども工芸館～動物とあそぼう』セルフガイド

「たんけん!こども工芸館」／『現代の眼』542号

「伊砂利彦《序(花のほかには松ばかり)長唄娘道成寺より》」／『チャイム  
銀座』第26巻第4号 通巻269号、和光

「宮川香山《色入菖蒲図花瓶》」／『チャイム銀座』第26巻第10号 通巻275  
号、和光

「鎌倉芳太郎の“紅型”—「印金臚型着物 倉」／『淡交』第59巻 第6号 通巻726号、  
淡交社

「野口光彦「陽炎」と御所人形」／『淡交』第59巻 第11号 通巻732号、淡交社

「指先でたどる情趣—芹川英子の人形」／芹川英子『華やぐいのち:芹川英子  
作品集』、小学館

講演「近代工芸案内～名品でたどる造形の道筋」／『東京国立近代美術館工  
芸館名品展—近代工芸の清華』展、秋田市立千秋美術館、平成17年10月30日

◆金子賢治

「近代陶芸史叙説要—『工芸』と『craft』をめぐって」／『東京国立近代美術館研  
究紀要』第10号

「作品にこめられた静かな主張」／『淡交』第60巻 第1号 通巻734号、淡交社

「野坂康起の今—原点へ」／『野坂康起展』カタログ、野坂康起

「岡田裕—色と形、もしくは窯変と絞り」／『岡田裕作品集』、瞬報社

「近代工芸の創世—新たな美を求めて」／『大いなる遺産 美の伝統』展カタ  
ログ、東京美術倶楽部

Formative thinking in Fukami Sueharu: craftical formation, not studio craft/SUEHARU  
FUKAMI, exhi. Cat., Museo Internazionale delle Ceramiche in Faenza

◆唐澤昌宏

「杉浦康益の存在証明―陶による岩の群から陶の博物誌まで―」／『杉浦康益―陶の花・陶の岩・陶の木立』展カタログ、財団法人神奈川芸術文化財団  
「加藤清之の造形思考」／『土から生み出すかたち 造形の軌跡―加藤清之展』展カタログ、愛知県陶磁資料館

「千葉の陶芸に期待すること―歴史を背景にして―」／『TAIKI PLUS 別冊』、新日本教育図書株式会社

「大塚茂吉―素材と技術、内面を生かすテラコッタ」／『炎芸術』84、阿部出版株式会社

「陶工・山田常山さん」／『陶説』633号、社団法人日本陶磁協会

作家解説／『制度制定50周年記念 人間国宝展』カタログ、NHK／NHKプロモーション

作品解説／『大いなる遺産 美の伝統』展カタログ、東京美術倶楽部

「金重陶陽『備前耳付水指』と桃山時代の備前焼」／『淡交』第59巻 第5号 通巻725号、淡交社

「長野埴志と“和銚”―松林の図肩衝釜』」／『淡交』第59巻 第10号 通巻731号、淡交社

作品解説／『チャイム銀座』第26巻第5号 通巻270号、和光

作品解説／『チャイム銀座』第26巻第10号 通巻275号、和光

「辻晋堂陶彫作品―その独創性について」／パネルディスカッション(米子コンベンションセンター 国際会議室、2005年9月10日)

デザインセミナー「陶磁器デザインの現況」／国際デザインセンター・プレゼンテーションルーム、2005年10月15日

◆木田拓也

「杉浦非水と三越―東京国立近代美術館所蔵の三越PR誌の表紙」／『東京国立近代美術館研究紀要』第10号

「日本のアール・ヌーヴォー：新しい芸術としての工芸」／『日本のアール・ヌーヴォー』展カタログ

作品解説／『チャイム銀座』第26巻第3号 通巻268号、和光

作品解説／『チャイム銀座』第26巻第7号 通巻272号、和光

作品解説／『チャイム銀座』第27巻第2号 通巻277号、和光

「十三代今泉今右衛門『色絵かるかや文鉢』と江戸期の色鍋島」／『淡交』第59巻 第12号 通巻733号、淡交社

「古作を模とし、新たな制作に生かす」／『淡交』第60巻 第3号 通巻736号、淡交社

◆北村仁美

「『器官』としての家具―渡辺力のデザイン」、年表作成／『渡辺力：リビング・デザインの革新』展カタログ

「ルーシー・リー《鉢》」／現代の眼556号

「高村豊周『鼎』と古代中国の青銅器」／『淡交』第59巻 第4号 通巻724号、淡交社

「中里無庵『唐津水指』と桃山の唐津焼」／『淡交』第59巻 第9号 通巻729号、淡交社

◆富田康子

「まぼろしのモダニティ 藤井達吉をめぐって」／『日本のアール・ヌーヴォー』展カタログ

「魔術師たちの贈り物」(作品解説)／『アート・トップ』第203号～第208号、芸術新聞社

「藤井達吉とその家族の女たち」『染織α』2005年10月号 No.295、染織と生活社

「富本憲吉の染織」／『染織α』2006年2月号 No.299、染織と生活社

「大木秀春『桃帯留』と江戸金工の粹」／『淡交』第59巻 第7号 通巻727号、淡交社  
作品解説／『チャイム銀座』第26巻第6号 通巻271号、和光

◆諸山正則

「斎田梅亭の截金—『截金菱華文飾篋』」／『淡交』第59巻 第8号 通巻728号、淡交社

「主題を如何に表現するか」／『淡交』第60巻 第2号 通巻735号、淡交社

二代前田竹房斎の竹工芸の研究／『人間国宝 二代前田竹房斎』展カタログ(堺市博物館)、講演

「青銅の意識」／『畠山耕治展「青銅の意識」』カタログ、高島屋